

議 事 録

会 議 名	令和6年度 第2回寒川町生涯学習推進会議		
開 催 日 時	令和6年10月30日（水） 午後2時00分～午後3時		
開 催 場 所	寒川町役場 東分庁舎2階 第3会議室		
出席者名、 欠席者名 及び 傍聴者数	出席者：町田委員、吉野委員、齋藤委員、石川委員、吉田委員、上田平委員、 仲田委員、滝沢委員、加島委員 欠席者：中島委員 事務局：宮崎学び育成部長、岡野学び推進課長、佐野主査、早川主任主事 傍聴者：2名		
議 題	(1) 「第3次寒川 学びプラン」の素案について (2) 「第2次寒川 学びプラン」令和5年度事業報告の評価（案）について (3) 「生涯学習に関するアンケート調査」データ分析結果について		
決 定 事 項	議事録承認委員の指名（齋藤会長及び加島委員）		
公開又は 非公開の別	公 開	非公開の場合その 理由（一部非公開 の場合を含む）	
議事の経過	1 開会 岡野学び推進課長 2 あいさつ 宮崎学び育成部長 3 議事録承認委員の指名 承認委員は齋藤会長、加島委員に決定 4 議題 (1) 「第3次寒川 学びプラン」の素案について（資料1） ・資料1により事務局から説明 【会長】委員の皆様からご質問等がございますか。 【委員】よろしいでしょうか。事務局には事前にメールで質問事項を配布しておりますので、それに沿ってお時間ください。全体的な第3次の内容、素案に関して、私がちょっと感じたことですが、4ページに前回の振り返り、いわゆる「第2次寒川 学びプラン」の進捗を追記されておりますので、これに関しては前プランの問題点を洗い出したということで、よい方法かなと思います。 また、8ページに基本目標1、2、3で、施策の説明を追記されています。説明を加えたことで、内容の理解が向上しているのかなと思います。8ページ目、基本目標1、2、3で目標達成の確認指標を追記していますけれども、令和5年度のアンケートによる評価という目標達成なのですね。あるいは、令和10年度のボランティア数、欲を言えば、各年度、1年単位での達成基準が不明確なのでその辺を明確にしてほしいというのがあります。 10ページ目に、進捗状況を数値化し、計画を追記されています。また、達成基準を		

明確化し、アンケートによる確認ということで、これも非常によい方法だと思います。
ここからは、第3次学びプランに関する質問が6点ほどあります。

1 番目、「第3次寒川 学びプラン」の狙い、いわゆる全体構想として、第2次を踏まえて、第3次はどこに着眼したプラン設定なののでしょうか。

【会長】「第3次寒川 学びプラン」の狙いはというところで。

【事務局】「第3次寒川 学びプラン」の狙いでございますけれども、基本理念「ともに学び・ともに支え合う 自己実現と協働のまち・さむかわ」を第2次プランから引き継ぎまして、町民の誰もが生涯のいつでも自由に学習機会を選択して学び、生きがいのある充実した生活を送るとともに、人と人とのつながり合いや支え合いの中で学んだことを活かすことによって、地域の活性化、まちづくりにつなげていけるような生涯学習を町として取り組んでまいりたいと考えております。

【委員】2次と3次の違いは何でしょうか。

【事務局】2次と3次の大きな違いは、3つの基本目標の達成のための明確な確認指標を設けたことです。

【委員】それ以外は変わらないということですね。

【事務局】それ以外は全体的に事業の見直しを図りまして、重複していたような事業がございましたので、そちらの見直しをいたしまして、事業数を減らしました。

【委員】そういう大きな部分というのが読めないのですよ、最初に。もし必要であればパブリックコメント等が出るのかもしれないですけども、2次から3次にこういうことを変えたというのがダイナミックに分かるような説明が1行でもいいので欲しいというのがあります。

2 問目、アンケート結果は非常にお時間をかけて費用もかけてやられましたけれども、そのアンケート結果をどのように「第3次寒川 学びプラン」に生かしたのでしょうか。町施設の利用度というのは、利用しない方が43.8%、それから町主催講座に参加しないという方が65%いらっしゃいます。これをどういうふうに「第3次寒川 学びプラン」に生かしたのでしょうか。

【事務局】アンケート結果をどのように「第3次寒川 学びプラン」に生かしていくかという御質問ですけれども、このような形でアンケート結果を受け止めることができましたので、内部の生涯学習調整会議幹事会におきまして、数値を共有いたしまして、第3次プランでもその結果に基づいて事業をいろいろ工夫したりしていけるように、こちらからも依頼をしたいということと、今回の結果も共有してまいりたいというふうに思っております。

【委員】と言われることは、最終のアンケートで、この町施設の利用度あるいは町主催講座への参加という項目をアンケートに入れてほしい。よろしいですか。

【事務局】講座ごとにという意味ですか。

【委員】いえ、違います。今回、アンケートでやりましたよね、第2次のときに。そのときに、町施設を利用しますか、しませんかという中で、利用しない方が43.8%いました。だから、そういう項目を3次のアンケートでも入れないと駄目ですよと言っています。

【事務局】分かりました。そうですね、当然比較していくためにそういった項目が必要だというふうに考えておりますので、次のアンケートを行うとともに、今回の分析

結果が出た時点で、もう少し内容についても精査すればよかった、というような反省点も出てまいりましたので、次回については委員の皆様にも質問内容を事前にお示しをさせていただきながら行ってまいりたいと思っております。

【委員】3問目。プランの事業計画ですけれども、第2次と第3次を比較しますと、第2次では「学ぶ」が44事業、第3次が25事業で、マイナス19事業。「つながる」は13事業で変わらず。事業計画の総数が65から46、マイナス19です。さらに、事業担当課は18課から15課、マイナス3になっています。これらを踏まえて、この「学ぶ」事業をボリュームダウンした狙いというのはどこにあるのでしょうか。

【事務局】今、委員から事業担当課が18から15へ減少したとお話いただきましたが、実際には、第2次プランに掲載しておりました広報戦略課の広報活動事業と、教育施設給食課の学校体育施設の有効活用の部分、それぞれ1事業を持っておりましたので、2課減ったということになります。事業担当課共通は課として数えていませんので、こちらとしては2つの課が減ったというふうに捉えております。

【委員】それに関連しますけど、いわゆる事業担当課共通の事業が全く第3次プランからなくなっちゃいました。その事業担当課共通というのは19担当課が関連していたのですよ。5つの事業が事業担当課共通で2次ではあったのですが、それが全くなかった。それはどういう内容かというと、託児だとか手話通訳だとか要約筆記だとか、アンケートを集計して皆様が講座を受けたときに満足度を図る、そういう内容が全部なくなりました。これを次に質問しようと思ったのですが、それではその理由は。

【事務局】事業担当課共通事業ですけれども、当たり前に、講座の対象者によって、夜間ですとか休日に開催をする、子育て世代を対象とした事業であれば当然託児も行っていく必要があります。また、インターネットを活用した参加申込みもほとんど、行っておりますので、あえて第3次プランでこの事業について掲載する必要はないのではないか、当たり前のことということで捉えまして、今回からは事業を削除しております。

【委員】私個人の感想としては、手話通訳ですとか要約筆記というのはあって当たり前なので、こんなことを事業にすること自体がナンセンスと思っていますので、非常にうれしい改良です。

続けます。第2次の事業が65、第3次の事業が46という話をしましたが、同じく事業担当課が20から15に変わったということですが、これらを踏まえて、寒川町総合計画2040との整合はちゃんと取れているのでしょうか。

【事務局】総合計画2040の整合性につきましては、夏に事業担当課に対して、第3次学びプランに掲載する事業の調査を行いました。その中で、事業課には掲載事業についての目標・指標といったものは当然上位の計画である総合計画に指標を合わせてほしいと依頼をしております。

先ほど、目標指標修正の説明をいたしましたが、担当課から総合計画の目標指標と合わせて学びプランも修正をしたいというような依頼を受けて修正をした事業もあります。担当課も総合計画の数値を確認しながら、学びプランもそれに合わせていくというような形で整合性は取れていると思っております。

【委員】この3ページに書いてある総合計画2040との整合性はクリアしているというふうに我々も考えてよろしいですね。

【事務局】はい、大丈夫です。

【委員】分かりました。最後の質問になります。学びプランの各事業、いわゆる総論か

ら各論の部分ですけれども、第2次と比較して3次で大幅に増減した事業があります。No.11「ふれあい塾運営事業」は、令和5年度の現状値である2,397から目標数値が5,000に倍増しています。それからNo.17「男女共同参画推進事業」は目標数値が令和5年度の現状値223から100に半減。No.24「家庭教育支援に関する事業の開催」も目標数値が17から6に半減しております。これらの増減した事業に対する理由は何でしょうか、お聞かせください。

【事務局】順番に御説明をさせていただきます。No.11の「ふれあい塾運営事業」は学び推進課の事業になります。ふれあい塾は令和4年度までコロナにより事業を休止しておりました。昨年の10月から再開することになり、10月からの年度途中での再開となったため、参加人数が少なくなっております。今年度からは、4月より事業を行っておりますので、令和7年以降の目標数値も令和5年度現状値の2倍強で設定しております。

【委員】半減したほうは。

【事務局】No.15の「介護に関する講座等の開催」ですけれども、コロナの感染予防の影響で、令和5年度まで人数制限を実施し、1日2回開催していた講座があったようなのですが、コロナも落ち着いてきたということで令和6年度から1日1回に変更したため、それに伴いまして開催回数が減ったということになります。

【事務局】No.17の「男女共同参画推進事業」は、令和5年度までは講演会を年2回、県との共催を1回、藤沢・茅ヶ崎・寒川町の連携事業を1回、合計2回開催していたようなのですが、令和6年度からは年1回、県との共催のみということになりまして、2市1町の連携事業は、講演会形式からリーフレットの発行に変更になったため、目標数値が100になったということでございます。

続きまして、No.24の「家庭教育支援に関する事業の開催」ですけれども、担当課に確認をいたしましたところ、公民館事業としては、第2次プランと同様に、毎年各館2事業以上原則として設定をしていきたいということです。公民館事業としては、いろいろな事業をやっているのですが、対象年代とか必要課題、要求課題のテーマをバランスよく各館に企画してもらうため、実績値、現状値ではこの数字になっているのですが、令和7年以降の目標数値については、まずは6回という数値を設定したということになります。

【委員】適正值ということでしょうか。

【事務局】そうですね、担当課はそうように申ししておりました。

【委員】じゃあ、もうちょっと。今の議論に関しては、後で皆さんとやっていきたいのですが、1点だけ私のお話をもう少し聞いてください。

事業担当課なのですが、学び推進課が46事業のうち14、それから教育委員会教育政策課が13というふうに非常に多い。ほか、町民協働課だとかが3、3、3ぐらいかなということで、学び推進課と教育政策課が主にこれを担ってやっている。ということで、非常に皆さんが考えているよりも狭い範囲で事業が行われているような気がするのですが、これはどうなのでしょう。ということを質問というか、皆さんに投げかけです。

【会長】いろんな委員の皆様から多く御意見を伺いたいと思っておりますので、皆様、何か今の御質問等を含めて、あと最後に委員が投げかけてくださったところも含めて、何か御意見がある方はいらっしゃいますか。いかがでしょうか。

【委員】ちょっと内容を理解しなかったの。政策課とか言ったじゃないですか。そこでやっている事業って、よくはつきり分らない。

【委員】学び推進課と教育政策課ですよ。教育関係は町民センターとか公民館関係と学校、そういう講座です。

【委員】町民センターでよく事業をやっているじゃないですか、あれはどこでやっているのか。

【委員】教育委員会教育政策課です。

【委員】町民センターとか公民館関係を管轄するのが教育委員会なので、そういう事業は教育委員会がまとめています。

【委員】町民センターはいろいろなことをやっていますよね。

【委員】だから、すごいなと思いながら。

【会長】ほかに何か御意見ある方、いらっしゃいますか。なければ、こちらで質疑を打ち切り、議題（１）についてはこれで終了いたしますが、よろしいですか。

- (2) 「第２次寒川 学びプラン」令和５年度事業報告の評価（案）について（資料２）
・資料２により事務局から説明

【会長】事務局からの説明にもありましたとおり、本日は時間の制約もございますので、後ほど御確認いただきまして、御意見がございましたら１１月２９日までに事務局までお願いいたします。議題（２）については、これにて終了いたします。

- (3) 「生涯学習に関するアンケート調査」データ分析結果について（参考資料２）
・参考資料２により事務局及び吉田委員より説明

【委員】聞いていて非常に分かりやすかったのは、PDCAが回っているのですよ。アンケートして、内容はこうでした、その結果をこのように実行すればこういう結果が出ますということですが、一枚の中にとじ込まれている。ということで、先生に感謝いたします。一つ疑問に思った点は、今、実際に第３次のほうにこのアンケートの結果が落とし込まれていますと、もう既に「ます」ということだったのですが、それでよろしいですか。

【事務局】明確にはちょっと見えづらい形にはなっておりますが、この結果については、この後、各担当課の課長が集まる幹事会でこの情報も共有いたしますので、必ずこのアンケート結果を反映した形で第３次を進めてまいります。

【委員】このアンケート結果に基づいて第３次学びプランを計画しましたということが明確になれば、もっとすっきりすると思う。２次を考えた上で、こういうふうになりましたよ、ブラッシュアップしましたというのがしっかりと分かりますので。そういうような方向で、パブリックコメントとかやられたらいかがでしょうか。

【会長】ほかに御意見や聞きたい方がいらっしゃいましたら、お願いしたいと思います。

【委員】７０代がすごいなと思って。もっともだと思いました、私も感じていました。体操、健康にやっぱり関係あるのですよね。回数は７０代が一番多いじゃないですか、

	これで見ると。 【委員】そうですね。 【委員】回数がね、やっぱり利用しているのですよ。私もそう思っていました。ああ、このとおりだなと感じました。 【委員】生涯学習の意義といいますか、求められているなというところが非常に明確に出たかなと感じております。 【委員】70代は仕事が一段落して、体力もあるから。 【委員】いや、でもやる気の問題でなかなか出かけないのですよ。 【委員】コミュニケーションの場としていらっしゃるという意見があったので、そういう意義もあったのだなという、気付かされるところが多かったと思います。 【委員】そうですね。少し皆さんと会うというか、おしゃべりをするって、それがいいようにね、皆さんね。 【委員】そうですね。 【委員】そうなのですよ。 【委員】情報交換としても。 【会長】ほかにございますか。では、これで質疑を終わります、議題についてはこれで終了とします。 5 その他 ・「第3次 寒川学びプラン」(案)のパブリックコメントの実施について(参考資料3) ・次回会議の予定について 6 閉会 岡野課長
配付資料	資料1 「第3次寒川 学びプラン」素案 資料2 「第2次寒川 学びプラン」令和5年度事業報告の評価(案) 参考資料1 「令和6年度 第1回寒川町生涯学習推進会議議事録」 参考資料2 「生涯学習に関するアンケート調査」データ分析結果報告資料抜粋版 参考資料3 「第3次寒川 学びプラン(案)」パブリックコメント概要版
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	・齋藤 真理子 ・加島 勝子 (令和7年1月16日確定)